

第5学年 学級活動（2）指導案（デジタルシティズンシップ教育）

指導者 第四錦林小学校 西山大輝

- 1 日 時 令和4年11月9日(火) 第6校時 (14:45~15:30)
- 2 学年・組 第5学年 (男子13名、女子9名、計22名)
- 3 題材名 「メディアの使い方、自分でバランスをとるには？」
(学級活動(2)ア 基本的な生活習慣の形成)

4 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、明るく、活気があり、チームワークが良い。月に一度実施している「学級力アンケート」では、友だちとの繋がりや、認め合い、感謝の気持ちを表すことなどの項目で前向きな回答をしている。また、5学年としての自覚が芽生えつつあり、学校行事では、率先して前に出て他学年を引っ張ろうとする姿が見られている。しかしその反面で、発表する際は決まった児童ばかりが挙手をするなどの消極的な一面や、良くないことと分かっているにもかかわらず流されてしまうことがある。

GIGA 端末の使用については、ロイロノートで自分が使いやすいノートのテンプレートを作ったり、Teams を通して調べたことの情報共有などをしたりと、新たな活用方法を見出し、積極的に使おうとする姿勢をもっている。多くの授業で、自分の意見などをまとめる際に、ノートか GIGA 端末かを選択できるようにしているが、8割もの児童が GIGA 端末を選んで使用している。使用する際には、「学習道具の一部」という認識のもと、休み時間であっても自分が楽しむだけの活用にならないよう指導をしている。

(2) 題材設定の理由

高学年になり、家庭での自由な時間をゲームや動画視聴に使うことが増えている。スマートフォンを所持する児童もおり、メールなどでよく、やりとりもしているようだ。学校で GIGA 端末を有効活用でき、児童の中で電子機器の可能性は広がり続けている。そうした中で、単に、「使いすぎだ」「遊んでばかりいる」、「トラブルに巻き込まれる」などと児童の行動が制限されることも想定される。児童等には、これから活用していくパートナーをネガティブなものとして認識するのではなく、問題解決や自身の楽しみの一つとしてのポジティブな道具として扱ってもらいたい。題材を通して児童には、「学習の道具として」、「生活の一部として」自身の目的に合わせて自律しながら活用すべきだと気が付くきっかけにしたい。

5 第5学年および第6学年の評価規準

観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	日常生活での基本的な生活習慣における自己の課題に気づき、改善に向けて自ら考え行動することができる。	日常生活での基本的な生活習慣における自己の課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	日常生活での基本的な生活習慣をよりよくするために、自己を振り返りながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

6 事前の活動

児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
・学級力アンケートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学級目標を確認し、自身や学級の目標を想起しながら回答する。 ・日頃の自分を振り返りながら回答する。 	◎自分や友達のよさや可能性を生かしてなりたい自分や学級について考えることができている。(思)【アンケート、ロイロノート】

7 本時のねらい

自分に最適なメディアバランスを考えて、健康にメディア(パソコンやネット)を利用することができるようにする。

8 本時の展開

	児童の活動	指導上の支援 (●) 留意点 (○) タブレット活用 (T)	資料	◎目指す 児童の姿 (観点) 【評価方法】
導入	<p>つかむ</p> <p>1 普段、家庭でどのようなことにどれだけの時間、メディアを利用しているのかを振り返る。</p>	<p>○「メディア」について理解する。インターネットやテレビなどの電子媒体だけでなく、本などの紙媒体やラジオなどの音声もメディアの一部であることを確認する。</p> <p>○「平日の放課後」にシーンを固定して、どのようなメディアを使っているのか確認する。</p> <p>○シンキングツール「ピラミッドチャート」を使い、毎日2時間以上利用しているもの、2時間以内の利用のもの、1時間以内のものに振り分け、自身の利用状況を俯瞰できるようにする。</p>	STEAM ライブラリー 資料 「メディアの使い方、自分でバランスをとるには？」	
【めあて】 自分にあつたメディアバランスを考えよう。				
展開	<p>さぐる</p> <p>2 お家の人は、自分のメディア利用に対し、どのような点に心配しているのかを予想する。</p>	<p>○メディアバランスについて説明をする。</p> <p>○親の思いと、自分がメディア利用をすることの目的や意味、価値にはずれ違いがあり、折り合いをつけていくことの大切さに気が付くことができるようにする。</p>		

	<p>見付ける</p> <p>3 自分が最適だと思うメディアバランスを考える。</p> <p>4 考えたメディアバランスをもとに、友だち同士で意見交換をする。</p>	<p>○メディアバランスは、以下4点を踏まえて考えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康に生活するためにメディアをバランスよく使う。 ・なにをいつどのように使うか、自分の気持ちがどうなるのか。 ・一人一人が違ってよい。 ・メディアを使わない選択もある。 <p>○意見交換をする前に、交流する視点を確認する。</p> <p>○修正改善は、消しゴムで消さず、赤で消したり、書き加えたりする。</p>	
<p>終末</p>	<p>決める</p> <p>4 今後メディアバランスをとって行動するために、気を付けることを記入する。</p>	<p>○書いたワークシートを持ち帰り、お家の人と一緒に考える場を設ける。</p>	<p>◎メディアバランスのとれた生活のためにできる工夫について考えている。【思】 (ワークシート)</p>

メディアの使い方, 自分でバランスをとるには? **めあて** 自分にあったメディアバランスを考えよう。

大切なこと 〈メディア〉 〈お家の人は…〉 ◎もっともすばらしい ◎意見交流で
メディアバランスを考える 気が付いたこと

まなぶこと

メディア

メディア
バランス

・テレビ
・ゲーム
・スマホ
・本
・タブレット
・ラジオ

・健康
・時間
・マナー
・友達との
やり取り
・勉強

10 事後の取り組み

本時の学習内容を学校ホームページや学級通信に掲載し、家庭に周知を図る。また、児童が書いたワークシート持ち帰り、お家の人からコメントをもらうようにし、お家の人と一緒に考える場を設けるようにする。